

實行方法
 大会の名に依りて決議文を通信當局に提出
 決議文の作製は執行委員会一任
 中野支部提出

八日曜日祭日全休制度促進に関する件

理由

一日八時間一週四拾八時間制の度施は全労働階級の叫びであり、本業に就いては我等も又幾度か叫び来たつた所である。現今社會の煩雜なる激務に一般の人々もより我等現業員に於ても過度の労働に身心共に極度の疲勞し來たつてゐる。加へて、今や社會は人智の力益々旺盛ならんとす。此の秋に當り我等現業員は心身の休養を固り知識の啓発を図る日時を有せしむる年中無休の状態である。斯くては國家の行政、國民の生活と密接な關係を有する通信事務

と完全の結果を以てか出来ぬ。且つ二十万通信現業員の社會生活に重大な問題であるが故に本案を提出した所以である。尚ほ是れ各國の狀態を多く度々概ね日曜祭日に通信事務を取扱ふ國は日本のみである由である。以上、意味に於て満場一致御賛成あらんことを希望する。
 電報部は全体として困難な事情にあるから適宜に考慮して方法を講ずること、

實案

- 一、通信當局に於て公衆の自覺を促す為め適宜なる機関を設けて宣傳せしめること。
- 二、進友同志會に於ても適切な宣傳方法を考究すること。

執行委員會一任